

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2021年4月6日】第77号



令和3年度 東京農業大学稲花小学校入学式を開催

2021年4月6日(火)に、本校は、72名の新入生を迎えました。新型コロナウイルス感染症防止を第一に考えた入学式でしたが、マスクを着用した子どもたちと保護者の笑顔がうれしい日となりました。学校法人東京農業大学理事長 大澤貫寿先生ほかご来賓にご登壇いただき、また、ご祝辞を賜って式次第に掲載いたしました。

はじめてのお友だち、担任の先生に会い、また、たくさんの教科書や教材を持ち帰った初日、新入生にもご家族の皆様にも記念すべき日になったことでしょう。制服姿も凛々しい72名の新入生の「冒険心の育成」のために、教職員も皆、心を新たにいたしました。

***** 式 辞 *****

東京農業大学稲花小学校 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さん、そして、保護者の皆様には、待ちに待った入学式でしょう。私たち教職員、また東京農大稲花小学校の児童も、新入生の皆さんを心待ちにしておりました。

とはいえ今、私たちは、新型コロナウイルス感染症防止を第一に考える毎日です。今年は昨年とは異なり、一組と二組と揃っての入学式が行えることをうれしく思う一方、三つの密を避け、時間を短くして感染を防止する目的での変更もしなくてはなりません。とくに、保護者の皆様には各ご家庭お一人しか出席していただくことができず、残念に思っています。

でも今日、元気に小学校に来てくれた一年生の皆さんの、いきいきとした表情を見ていると、うれしい、幸せな気持ちがあふれてまいります。ご参列の皆様も同じお気持ちではないでしょうか。

新入生の皆さん、今日からは、小学校の先生方、お友だちと楽しい小学校の生活が始まります。今日から皆さんは、東京農大稲花小学校の子どもです。

皆さんは、これから、この小学校でたくさん勉強をしていきます。と言っても、勉強とは、机に座って教科書を読んだり、ノートに字を書いたりすることだけではありません。動物や虫に触ったり、野菜を育てたりするのも勉強です。お友だちと一緒に遊んだり、運動したり、実験をし

たりするのも勉強です。学校の外に出かけて、いろいろなものを見たり、人からお話を聞くのも勉強です。給食をおいしく食べるのも勉強ですね。勉強には、本当にたくさんの種類があります。東京農大稲花小学校でのいろいろな勉強を、楽しみにしててください。

そして、私たちは皆さんに、この小学校で、いろいろな冒険をしてもらいたいと思っています。

冒険、という言葉を知ると、どんなことを想像しますか。危ないことですか。怖いことですか。そうではありません。今までできなかったことや、初めてで難しそうなことにも、勇気を出してやってみること。これが、私たち東京農大稲花小学校の冒険です。分からないことがあったら質問することも、冒険です。自分の考えを、しっかりと話すことも、冒険です。そして、冒険のためには、強い心とからだをもつこと、そして勉強をしていろいろな準備をすることが必要なのです。

みなさんが、毎日のいろいろな勉強の中で、たくさんの冒険を重ねながら、大きくなっていくことを、楽しみにしています。さて、今度はご家族にお話をすることにしましょう。新入生の皆さんは静かにきいてくださいね。

あらためまして、保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、入学式を挙げるにあたり、学校法人東京農業大学 理事長 大澤貴寿先生にご登壇いただいております。本来であればこの機会にご祝辞を賜るところですが、昨今の事情を踏まえ、式次第への掲載に替えさせていただいておりますことを、ご了承ください。大澤理事長にはご祝辞をありがとうございました。また、本日は同じく、学校法人東京農業大学 統括校長 金田喜明先生、東京農業大学稲花小学校教育後援会 会長 朝倉啓友様にもご登壇いただいております。朝倉様にも式次第へのご祝辞をいただき有難うございました。

さて、東京農業大学の創設者は、幕末から明治にかけて活躍した榎本武揚公です。この榎本公は、「冒険は最良の師である」という言葉を残しています。これは、未知なるものにひるまず、困難に立ち向かうことの大切さを謳ったものです。東京農大稲花小学校は、この言葉に基づき「冒険心の育成」を教育理念として掲げ、様々な体験によって、知を獲得する学びの実現を目指しています。東京農業大学の大きな支援のもと、また東京農業大学が今まで培ってきた多様な教育資源を活用して、冒険心をもって、科学的、実践的に学ぶ子どもを育ててまいります。

今、私たちは日々、社会の変動を実感しています。増してや、この七十二人の子どもたちが世の中に羽ばたき、生き抜いていく時代のことを見通すのは容易ではありません。しかし、「冒険心」を軸に、確かな学力と、コミュニケーション力を備え持った子どもたちは、どのような社会で

あっても、地球のどこにあっても、きっと活躍をすることができるでしょう。保護者の皆様をはじめとする、多くの方々のご理解とご協力を仰ぎながら、私たち教職員一同、新入生の一人一人を大切に、愛情を注ぎながら教育に当たってまいります。

今日の日が、それぞれのお子様の夢、ご家族の希望を叶える第一歩となることを願っております。

あらためまして新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

2021年4月6日

東京農業大学稲花小学校

校長 夏秋 啓子
